### 北陸圏広域地方計画 計画原案【構成】

#### はじめに

計画の策定に当たって

計画期間

計画区域と隣接圏・府県との関係

#### 北陸圏の現状

- 〇充実した居住環境や子育て環境、就業機会にも恵まれた良質な生活環境
- ○3,000m級の山岳から急流河川や扇状地、日本海まで多様な生態系と健全な水循環系を育む豊かな自然環境
- 〇歴史、豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自性のある文化
- 〇都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる環境
- 〇豊富な水や資源を活かした、伝統産業から先端産業まで日本海側有数の工業集積等、多様な産業の集積

業の活性化

〇三大都市圏や環日本海諸国を始めとする東アジアに対するアクセス性の向上

#### 北陸圏の課題

- (1) 広域交通の充実による環日本海諸国 や三大都市圏へのアクセス性の向上に ともなうポテンシャルの活用
- 連接する都市と自然豊かな農山漁村

(4) 食料を供給し食文化を育む農林水産

(7) 太平洋側の大規模地震等災害リ スクへの対応

- (2) 日本海側有数の人口・産業・経済等の 集積の活用
- との融合が生み出す魅力の活用 (6) 豪雪や風水害、地震等厳しい自然災
- (8) 美しい自然環境・地球環境の保 全への対応

- (3) 豊かで多様な自然や文化資源の集積 等地域資源の活用
- 害への備え
- (9) 漂着ゴミ、黄砂等の増大する環境 問題への対応

## 将来像 1

世界に開かれた日本海側 における交流の中枢拠点

#### 【北陸圏の位置付け】

豊かで多様な自然、魅力ある都市と農山漁村及び 活力ある産業が共生した、圏域内の連携と国内外 との交流により我が国の持続的な発展を先導す る、日本海国土軸の中枢圏域

#### 将来像 2

人々をひきつける 「暮らしやすさ」日本-

- 進取の気性に富んだものづく り文化で培われる国際競争力 のある産業の育成
- (1)地域主体の戦略に基づく国内外からの企業や人材誘致による地域産業の 活性化
- (2)イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出
- (3) 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開
- 2 地域文化力で育まれる国内外 との交流の創出
- (1)国内外の観光・交流の充実
- (2) 伝統的な産業、自然・歴史に培われた暮らしの継承と発信
- (3) 環境問題の解決をテーマとした環日本海諸国を始めとする東アジア等と の国際協調・貢献の推進
- (4) 国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進
- 3 安全・安心で人をひきつける ゆとりといやしにあふれる暮 らしの充実
- (1) 都市と農山漁村が共生する持続可能な連接型都市圏の形成
- (2)子育て支援の充実及び女性・高齢者や団塊世代を始めとした誰もが暮らし やすい生活環境の形成
- (3) 災害に強い安全・安心な暮らしの充実
- (4) 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実
- 4 日本海側の中枢拠点の形成に 向けた交流機能の強化
- (1) 国内外に展開する信頼性の高い物流・旅客機能の形成・強化
- (2)太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強

## 広域連携プロジェクト

- 東アジアに展開する日本海中枢拠点形成
- 2 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成
- 3 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成
- 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開 4
- 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成 5
- いきいきふるさと・農山漁村活性化 6
- 7 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化
- 8 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全
- 次世代に継承する日本海沿岸地域の環境保全

## 隣接圏域との交流・連携

- 北陸圏・中部圏連携の基本的考え方 1
- 2 北陸圏・中部圏の連携した取組
- その他隣接圏との交流・連携

# 計画の実現に向けて

- 1 多様な主体の参加と協働
- 2 持続可能な圏域形成に向けた人材育成
- 3 広域的な発想の下での地域連携の促進
- 投資の重点化・効率化と公共施設の計画的な管理
- 5 他の計画・施策との連携
- 6 計画のモニタリング等